
自分第一主義

悠架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分第一主義

【Nコード】

N8292F

【作者名】

悠架

【あらすじ】

桐谷綾香。大手企業会社社長の娘。および、桐谷家現当主の孫娘である。まあつまりは何をやったって許されるっていうことで、自分が有利になるのを使わない手は無いと思うんだよね。自分さえ良ければ他人なんてどうでもいいし。そんな綾香の非道な日常を描いた物語。

1、私の理想の最期なんだ。

私はいわゆる『前世』というものを覚えていた。

『前世』の私は事なかれ主義の猫被りで、

クラスではいつも大人しく読書をして、

イジメられないようにとひたすらリーダー格の女子に媚びて、

当たり障りの無い返答をし、

本音を隠して建前で生き、

陰で悪口を言われても知らないフリをし、

両親にすら愛想笑いを向けて生活していた。

がめついいつか、狡賢いというか。

あ、やっぱりがめついは違うか。

まあ、周りから見ればちょっと大人しいだけの普通の子だったと思う。

・・・いや、最期は自殺なんだけどね。

中三くらいのおきに、もう面倒くさくなって屋上から飛び降りたんだっけ。

ふふふ、すっごくスリルがあって楽しかったなア！

下からも後ろからも「やめなさい！」っていう焦った声がして、

私が一歩踏み出したらドカーンって爆発みたいに悲鳴が聞こえたの！！

その後すぐに空気の圧力？みたいなので気絶しちゃったんだけどねっ

今度の人生も、そうして終わろうかな？

2、他人と関わるのは面倒だから。

最近になって気づいたんだけど、今度の私はすっごいお嬢様らしい。

朝になって目が覚めると、使用人の誰かが必ずいて、

「おはようございます、お嬢様」

だつてさア！

イイねえ、従僕！執事つてさ、萌えるところない？

あ、でもイケメン限定だけどね！！

ふふふ、萌え・・・っ（禁句）

昼になるとついでにご飯の後、メイドさんに連れられて（ベビーカーで）庭を散歩する。

玄関に行くまでなのに、十分以上はかかるんだよ！

前の私の家だったら一分もかからねーよ・・・。

あ、そういえば、私の両親はなんか大手企業会社の社長と秘書らしくって。

毎日アメリカとかイギリスとかを飛びまわってるんだって。

とあるメイドさんによると、次帰ってくるのは総にいの誕生日になるって話だけど

急な用事とかができたなら絶対帰ってこないんだろっなって思う。

それが王道だし。

そうそう、一人っ子かと思ってた私だけど、兄貴が一人いたらしい。

それがさっきも言った「総にい」ね。総司っていう三歳上のシスコン（？）兄貴。

ぶっちゃけ新撰組の大ファンだった私にとって総にいの存在は萌えだよ！

将来は沖田総司のようになりなよ、兄貴！

言い忘れてたけど、私の名前は綾香っていうの。

桐谷綾香。

面倒くさいし、よろしくしないでくれて結構だよ？

他人と関わるっていうのは、人間にとっての足枷と同然だから、さ。

2、他人と関わるのは面倒だから。(後書き)

ほのばかと被ってるけどあつちがギャグ(だといいなあ)でこつちはダークです。

嫌われならイジメ側！しかもイジメ側に必須の権力に、前世から引き継いだ狡猾い知識を兼ね合わせた最悪コンボです。

・・・更生できないキャラだよなーw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8292f/>

自分第一主義

2010年10月28日04時19分発行